

市内に出没した野生イノシシ捕獲の経緯について

串田 金八 議員

質問 野生イノシシが市内で捕獲された。各メディアからの情報がやや違っているが、真相は。最初に出たあきる野市との連携はどうか。

市長 今回は市職員が加わりイノシシを捕獲し、被害を最小限に食い止めた。素人が野生イノシシに近づくのは危険で賛否両論あるが、職員の行動は市民の安全を第一に考えたもので、福生市5人、あきる野市1人のけが人の早期回復を願っている。

総務部長 防災行政無線放送とふっさ情報メールにて注意喚起の後、あきる野市と連携してパトロールを

行い、捕獲確認後に警戒を解除した。



▲市内に出没して被害をもたらしたイノシシを取り押さえる様子

I C T (情報通信技術を活用した) 教育について

清水 義朋 議員

質問 タブレット端末を活用した学習が、学力に与える効果を検証する研究が産官学協働で始まったが、その経緯と現状、今後を伺う。

教育長 モデル校視察の際、児童生徒は集中して取り組んでいた。ドリル問題をタイムトライアル形式で解答すると、自動的に採点結果がフィードバックされ、誤答を復習する時間もある。取り組むほどポイントが上がる仕組みで、学習意欲・学力の向上につながる。国のI T活用社会実現の目標に合わせて、I C T教育推進指針「福生市立学校I C T

推進計画(仮称)」を策定予定である。



▲電子黒板を活用した授業の様子(島根県海士町)

病後児保育を幼稚園児保護者は利用できないのか

岩崎 百合子 議員

質問 保育園と一体となる時代に幼稚園児が病後児保育を利用できない。「子育てするならふっさ」なら、全ての子どもを対象にしてほしい。

市長 病後児保育は、児童が病気回復期で集団保育が困難な時期に一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する制度で、幼稚園児の保護者には就労者もいるが、夏・冬に長期の休みがあり教育時間も4時間であることから、現状では利用対象としていない。今後は幼稚園児でも、保護者の就労、傷病、出産、冠婚葬祭などの理由で家庭保育

が困難な場合は受入れを検討する。



▲すみれ保育園内に開設している、病後児保育室

若年者に一般健診を実施し生活習慣改善の契機に

堀 雄一郎 議員

質問 特定健診対象者以外に、若年者の健診を実施し早くから生活習慣改善の契機としている自治体の例がある。本市でも導入してはどうか。

市長 市では40~74歳の特定健診、75歳以上の後期高齢者健診を実施しているが、39歳以下の若年層の健診は実施していない。若年の疾病の早期発見や生活習慣病の予防は重要で、生産年齢期の健康促進については定住化対策の取り組みにも掲げている。生活が不摂生になりがちな若年に健康や特定健診受診を意識づけることは意味がある。今後、実施市の状況

を踏まえ検討したい。



児童・生徒の音楽のまちづくりについて

原田 剛 議員

質問 「児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート」等での演奏は感動的だった。楽器購入から5年たったが、今後どう取り組むのか。

教育長 福生第七小学校の創立記念式典での合奏や合唱、各中学校の合唱コンクールでも音楽レベルの高さがわかる。東京都中学校吹奏楽コンクールでの連続受賞、市内各地での演奏等の披露で市民からの評価も高い。これは、平成21年度に楽器を整備し、児童生徒による音楽のまちづくりを推進してきた成果だが、メンテナンスの必要な楽器も多い。今

後も拡充を目指して整備を検討する。



▲児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート

公民館はどう利用するのか、利用されているのか

杉山 行男 議員

質問 公民館について、申込方法や使用料、利用者の状況、個人利用の可否、利用実績について伺いたい。

教育長 公民館は社会教育法において事業内容や設置手続き等が定められ、社会教育の組織的活動としての利用が想定されている。

教育次長 市民会館に併設の公民館本館と地域会館に併設の白梅分館、松林分館がある。団体利用が原則で、社会教育活動を行う目的などの要件を満たし、届け出たサークルから使用料は徴収しない。サークルや公共団体の利用が約9割で、他は有料使

用。町会・自治会は使用料免除となる。



▲公民館のつどいの様子

イノシシをはじめとする有害獣防災への取り組みは

大野 悦子 議員

質問 イノシシ出没や被害についての市内放送はわかりにくかった。生物多様性の観点から他の外来有害獣も含め対処をどう考えているのか。

市長 今年は全国的に大型野生動物が住宅地に出没し、本市でもイノシシによる負傷事故、アライグマ、ハクビシンによる農業被害があった。近隣市町村や警察と連携し、ホームページ等で野生動物の危険性、えさやり禁止、ごみ管理の徹底など注意喚起を図る。外来種については、国、東京都の指導の下、生物多様性の保全に努めていく。



▲農作物などに被害を与えるハクビシン

災害時対応施設(新学校給食センター)での今後の給食は

阿南 育子 議員

質問 計画の遅れが報告されたが、建設に伴う小中学校工事や採用予定の食器はどうか。食材は福生市ゆかりの産地から調達できないか。

教育長 平成29年7月末まで現学校給食センターによる給食を継続し、中学校のランチルームによる昼食対策も継続を検討中である。小中学校の整備改修工事に変更はなく、食器は強化磁器食器を28年度に調達の見込み。災害時対応施設での食材は前日納品を予定しており、農産物や加工食材の地場産物も使用がより促進される。福生市と関連のある市町村から

の食材調達も視野に入れていきたい。



▲防災食育センター(災害時対応施設)の完成イメージ図